寒気の候、　皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、仙台大学陸上競技部へ格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。

2023年11月25日、令和5年度仙台大学陸上競技部OB・OG会総会がオンラインにて無事行われました。WEBにて事務局より、皆様へ会の御報告をさせていただきましたが、今回、総会の開催が遅くなり、御報告が今時期になった事、この場にてお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

　今年度の活動報告として、初めて女子駅伝ブロックへ激励をさせていただきました。

また、全日本インカレ入賞者（対象選手2名）に対して、御祝金贈呈、例年通り卒業生へ記念品贈呈を致しました。

昨年持ち越しとしていた、SDGS目標４にある「質の高い教育をみんなに」として、OB・OGから学生へ講演会（全日本インカレで入賞する心得）をさせていただき、学生（選手）皆さんにチャンスはあり、それを掴むか離すかは「自分自身の覚悟」が必要だという事を御伝えさせていただきました。

　2023年、個人の収穫として、全日本インカレ（埼玉県熊谷市開催）において、2名の選手が目の前で入賞したシーンに立ち会えたことです。陸上競技を長い時間見続ける事をしたことがない自分が、出場選手のスケジュールに合わせ、応援した行動は、

好奇心からくる「新しい自分」の素直なアクションでした。

非常にエキサイティング時間を、選手・スタッフの皆様と共有できた事は、素晴らしく貴重な経験をさせていただきました。本当に感謝の一言です。

　レース後、男子100mで準優勝した大上直起君から「応援があると違いますね」という一言に、嬉しさの反面、我が仙台大学陸上競技部にはOB・OGが多くいるが、応援という力で選手をサポートできたのか否かを考えさせられた一瞬でもありました。

皆様にお願いと致しまして、継続して後輩である学生を支援し続けるため、

今後も御理解と御協力を承れれば幸いです。

育った環境、教えを受けた指導者は違いますが、「仙台大学陸上競技部の一員」には変わりありません。2024年も変わらぬお付き合いをお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

年の瀬も迫り何かとご多用のことと存じますが、体調を崩されませんようご留意ください。

　令和5年12月15日　仙台大学陸上競技部　OB・OG会長　大塚　勇次